



平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年11月15日

上場会社名 株式会社松家住宅

上場取引所 名証第二部

コード番号 1413

(URL <http://hinokiya.jp/>)

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒須 新治郎

問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)加藤 進久 TEL : (0480) 65-8565 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年1月1日～平成19年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	8,571	—	△640	—	△583	—	△409	—
18年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
18年12月期	15,723	—	533	—	663	—	311	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	△10,165	08	—	—
18年12月期第3四半期	—	—	—	—
18年12月期	7,732	53	—	—

(注) 当社は、当四半期より開示を行っておりますので、平成18年第3四半期の記載及び対前年同四半期増減率の記載は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19年12月期第3四半期	9,072		1,508		16.6	37,483	20	
18年12月期第3四半期	—		—		—	—	—	
18年12月期	7,332		1,968		26.8	48,902	90	

(注) 当社は、当四半期より開示を行っておりますので、平成18年第3四半期の記載は行っておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年12月期第3四半期	△89		△44		△40		3,604	
18年12月期第3四半期	—		—		—		—	
18年12月期	△47		538		△45		3,778	

(注) 当社は、当四半期より開示を行っておりますので、平成18年第3四半期の記載は行っておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			
	期末		年間	
(基準日)	円	銭	円	銭
18年12月期	1,000	00	1,000	00
19年12月期(実績)	—	—	1,000	00
19年12月期(予想)	1,000	00	—	—

3. 平成19年12月期の連結業績予想 (平成19年1月1日～平成19年12月31日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,198	9.4	652	22.4	735	10.8	372	19.7	9,106	89

(注) 1株当たり予想当期純利益は、新規上場に伴う5,000株の公募新株発行を加味した期中平均株式数40,894株により算出しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(参考) 個別業績の概要

1. 平成19年12月期第3四半期の個別業績（平成19年1月1日～平成19年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年12月期第3四半期	4,662 —	△294 —	△231 —	△161 —
18年12月期第3四半期	— —	— —	— —	— —
18年12月期	7,884 —	263 —	382 —	149 —

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第3四半期	△4,011 73	— —
18年12月期第3四半期	— —	— —
18年12月期	3,714 11	— —

(注) 当社は、当四半期より開示を行っておりますので、平成18年第3四半期の記載及び対前年同四半期増減率の記載は行っておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第3四半期	5,685	1,308	23.0	32,508 06
18年12月期第3四半期	—	—	—	—
18年12月期	4,747	1,520	32.0	37,774 40

(注) 当社は、当四半期より開示を行っておりますので、平成18年第3四半期の記載は行っておりません。

2. 19年12月期の個別業績予想（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,478 20.2	447 69.7	529 38.4	280 87.5	6,855 53

(注) 1株当たり予想当期純利益は、新規上場に伴う5,000株の公募新株発行を加味した期中平均株式数40,894株により算出しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年1月1日から平成19年9月30日）におけるわが国経済は、原油、素材価格の上昇や長期金利の上昇などがあったものの、企業収益の改善、設備投資の増加等があり、景気は総じて回復基調をみせました。

しかしながら、住宅業界におきましては、建築基準法改正に伴う建築確認申請審査の厳格化の影響もあり、当社グループの主力事業である注文住宅分野の持家住宅着工数の9月までの累計は前年比13.7%減少という状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、昨年発売した商品をより分かりやすくするために「hJ STYLE BOOK（エイチジェイ・スタイル・ブック）」という価格付カタログを発刊するとともに、「100年、愛される家づくり」をモットーに営業力強化のための住宅展示場への出展等に全グループをあげて取り組みました。

この結果、順調に受注を獲得し、受注高は141億97百万円となりました。しかしながら、木造注文住宅建築事業の季節的要因等により、注文住宅の完成引渡しが多下半期に偏る傾向があり、このため売上高及び利益の実現が事業年度後半へ集中するという当社の特徴に加え、建築確認申請審査の厳格化の影響を受け、当第3四半期においては、売上高85億71百万円、営業損失6億40百万円、経常損失5億83百万円、四半期純損失4億9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて17億39百万円増加して90億72百万円となりました。これは、主に、未成工事支出金が17億10百万円増加したこと等によります。

また、純資産は、利益剰余金が4億49百万円減少したこと等により、15億8百万円となり、自己資本比率は10.2ポイント減少し、16.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1億74百万円減少となり、36億4百万円の資金残高となりました。営業活動で、89百万円の資金減少となり、投資活動で44百万円の支出があり、財務活動で40百万円の支出となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、89百万円の資金減少となりました。これは、未成工事受入金の増加額25億26百万円はあったものの、税金等調整前四半期純損失6億65百万円、未成工事支出金の増加額17億10百万円、仕入債務の減少額1億97百万円、法人税等1億52百万円の支払いなどがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、44百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の売却による収入2億6百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出3億53百万円と定期預金の払戻による収入1億80百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、40百万円の支出となりました。これは、配当金の支払額40百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期における業績予想につきましては、次の通りであります。連結売上高は171億98百万円（前期比9.4%増）、営業利益は6億52百万円（前期比22.4%増）、経常利益7億35百万円（前期比10.8%増）、当期純利益3億72百万円（19.7%増）をそれぞれ見込んでおります。

また、平成19年12月期の1株当たり予想当期純利益につきましては、新規上場に伴う5,000株の公募新株発行を加味した期中平均株式数40,894株により算出しております。

なお、業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他一部に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金預金	—	3,604,213	—	—	3,958,333
2 完成工事未収入金	—	38,973	—	—	128,766
3 営業未収入金	—	4,207	—	—	12,312
4 未成工事支出金	—	2,612,520	—	—	902,509
5 材料貯蔵品	—	6,679	—	—	8,667
6 販売用不動産	—	15,114	—	—	61,956
7 その他	—	647,361	—	—	261,360
貸倒引当金	—	△526	—	—	△3,922
流動資産合計	—	6,928,544	—	—	5,329,984
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物・構築物	—	163,663	—	—	186,874
(2) 土地	—	1,339,116	—	—	1,238,064
(3) その他	—	124,615	—	—	160,642
有形固定資産合計	—	1,627,396	—	—	1,585,581
2 無形固定資産	—	77,146	—	—	9,245
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	—	105,561	—	—	122,500
(2) その他	—	339,934	—	—	298,045
貸倒引当金	—	△6,579	—	—	△12,564
投資その他の資産合計	—	438,916	—	—	407,981
固定資産合計	—	2,143,459	—	—	2,002,808
資産合計	—	9,072,004	—	—	7,332,793

(注) 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 工事未払金	—	2,278,808	—	—	2,474,092
2 買掛金	—	5,847	—	—	8,239
3 短期借入金	—	500,000	—	—	500,000
4 未成工事受入金	—	4,321,581	—	—	1,795,236
5 賞与引当金	—	44,050	—	—	11,294
6 展示場閉鎖損失引当金	—	23,130	—	—	16,800
7 その他	—	273,973	—	—	414,146
流動負債合計	—	7,447,390	—	—	5,219,809
II 固定負債	—	115,915	—	—	144,642
負債合計	—	7,563,305	—	—	5,364,451
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	—	227,150	—	—	227,150
2 資本剰余金	—	177,150	—	—	177,150
3 利益剰余金	—	1,096,285	—	—	1,545,680
株主資本合計	—	1,500,585	—	—	1,949,980
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	—	8,113	—	—	18,361
評価・換算差額等合計	—	8,113	—	—	18,361
純資産合計	—	1,508,698	—	—	1,968,341
負債純資産合計	—	9,072,004	—	—	7,332,793

(注) 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	—	8,571,320	—	—	15,723,833
II 売上原価	—	6,335,932	—	—	11,531,067
売上総利益	—	2,235,388	—	—	4,192,765
III 販売費及び一般管理費	—	2,876,318	—	—	3,659,476
営業利益又は営業損失(△)	—	△640,929	—	—	533,288
IV 営業外収益					
1 受取利息	—	382	—	—	364
2 受取配当金	—	1,376	—	—	1,529
3 賃貸収入	—	43,748	—	—	65,856
4 紹介手数料収入	—	7,741	—	—	21,920
5 その他	—	22,286	—	—	49,857
営業外収益合計	—	75,535	—	—	139,527
V 営業外費用					
1 支払利息	—	7,379	—	—	8,323
2 遅延違約金	—	10,644	—	—	812
3 解約物件費用	—	496	—	—	297
4 その他	—	—	—	—	147
営業外費用合計	—	18,520	—	—	9,581
経常利益又は経常損失(△)	—	△583,914	—	—	663,234
VI 特別利益					
1 貸倒引当金戻入	—	3,721	—	—	11
特別利益合計	—	3,721	—	—	11
VII 特別損失					
1 固定資産除売却損	—	96	—	—	1,802
2 減損損失	—	64,077	—	—	45,293
3 展示場除却損	—	2,000	—	—	36,666
4 展示場閉鎖損失引当金繰入額	—	19,630	—	—	16,800
5 その他	—	—	—	—	35,782
特別損失合計	—	85,804	—	—	136,344
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	—	△665,997	—	—	526,901
法人税、住民税及び事業税	—	4,299	—	—	219,991
法人税等調整額	—	△261,151	—	—	△4,323
当期純利益又は四半期純損失(△)	—	△409,144	—	—	311,234

(注) 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

(3) (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期(平成18年12月期第3四半期)

前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

当四半期(平成19年12月期第3四半期)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年12月31日 残高(千円)	227,150	177,150	1,545,680	1,949,980	18,361	18,361	1,968,341
当四半期中の変動 額							
剰余金の配当		—	△40,250	△40,250			△40,250
四半期純損失 (△)			△409,144	△409,144			△409,144
株主資本以外の 項目の当四半期 の変動額(純額)					△10,248	△10,248	△10,248
当四半期中の変動 額合計(千円)	—	—	△449,394	△449,394	△10,248	△10,248	△459,642
平成19年9月30日 残高(千円)	227,150	177,150	1,096,285	1,500,585	8,113	8,113	1,508,698

前期(平成18年12月期)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成17年12月31日 残高(千円)	227,150	177,150	1,274,695	1,678,995	28,921	28,921	1,707,916
連結会計年度中の 変動額							
剰余金の配当 (注)		—	△40,250	△40,250			△40,250
当期純利益			311,234	311,234			311,234
株主資本以外の 項目の連結会計 年度中の変動額 (純額)					△10,559	△10,559	△10,559
連結会計年度中の 変動額合計(千円)	—	—	270,984	270,984	△10,559	△10,559	260,424
平成18年12月31日 残高(千円)	227,150	177,150	1,545,680	1,949,980	18,361	18,361	1,968,341

(注) 平成18年3月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	—	△665,997	526,901
減価償却費	—	33,812	43,774
減損損失	—	64,077	45,293
貸倒引当金の増減額(減少：△)	—	△9,381	975
展示場閉鎖損失引当金の増減額(減少：△)	—	6,330	16,800
受取利息及び受取配当金	—	△1,758	△1,893
支払利息	—	7,379	8,323
固定資産除売却損	—	96	1,802
売上債権の増減額(増加：△)	—	97,898	△79,741
未成工事支出金の増減額(増加：△)	—	△1,710,010	53,085
材料貯蔵品の増減額(増加：△)	—	1,988	△3,751
販売用不動産の増減額(増加：△)	—	46,841	△9,209
仕入債務の増減額(減少：△)	—	△197,676	57,757
未成工事受入金の増減額(減少：△)	—	2,526,344	△181,251
その他	—	△131,555	△71,010
小計	—	68,387	407,857
利息及び配当金受取額	—	1,907	1,893
利息の支払額	—	△7,424	△8,355
法人税等の支払額	—	△152,563	△448,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△89,692	△47,502
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻による収入	—	180,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△353,161	△333,901
有形固定資産の売却による収入	—	206,148	881,590
無形固定資産取得による支出	—	△67,348	△2,591
差入保証金の差入による支出	—	△9,162	△9,093
貸付金の回収による収入	—	1,429	1,300
その他	—	△2,085	1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△44,177	538,424
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	—	△40,250	△40,250
その他	—	—	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△40,250	△45,250
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	—	△174,120	445,672
V 現金及び現金同等物の期首残高	—	3,778,333	3,332,661
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	—	3,604,213	3,778,333

(注) 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成18年12月期第3四半期)

前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

当四半期(平成19年12月期第3四半期)

	木造注文住宅 建築事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,239,979	331,341	8,571,320	—	8,571,320
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,601	335	20,937	(20,937)	—
計	8,260,581	331,676	8,592,258	(20,937)	8,571,320
営業費用	8,604,532	355,975	8,960,507	251,742	9,212,250
営業損失(△)	△343,951	△24,298	△368,249	(272,680)	△640,929

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性により区分しております。

2 各事業の主な内容

(1) 木造注文住宅建築事業……………一般顧客向け木造注文住宅建築

(2) その他の事業……………一般顧客向け住宅リフォーム、中小工務店向け営業・施工に関するノウハウの提供

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(279,642千円)の主なものは、当社の総務・経理・人事等の管理部門に係る費用であります。

(参考) 前期(平成18年12月期)

	木造注文住宅 建築事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,184,425	539,408	15,723,833	—	15,723,833
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,275	584	31,859	(31,859)	—
計	15,215,700	539,993	15,755,693	(31,859)	15,723,833
営業費用	14,295,561	543,527	14,839,088	351,455	15,190,544
営業利益 又は営業損失(△)	920,138	△3,534	916,604	(383,315)	533,288

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性により区分しております。

2 各事業の主な内容

(1) 木造注文住宅建築事業……………一般顧客向け木造注文住宅建築

(2) その他の事業……………一般顧客向け住宅リフォーム、中小工務店向け営業・施工に関するノウハウの提供

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(391,225千円)の主なものは、当社の総務・経理・人事等の管理部門に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期(平成18年12月期第3四半期)及び当四半期(平成19年12月期第3四半期)並びに前期(平成18年12月期)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前年同四半期(平成18年12月期第3四半期)及び当四半期(平成19年12月期第3四半期)並びに前期(平成18年12月期)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 受注工事高、完成工事高、繰越工事高及び施工高

当四半期及び前期における受注実績及び施工高を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

期 別	セグメント別	前期繰越 工事高 (千円)	期中受注 工事高 (千円)	計 (千円)	期中完成 工事高 (千円)	期末繰越工事高			期中 施工高 (千円)
						手持 工事高 (千円)	うち施工高		
							比率 (%)	金額 (千円)	
当四半期 (平成19年 12月期第3 四半期)	木造注文住 宅建築事業	8,926,479	14,002,785	22,929,264	8,239,979	14,689,285	17.6	2,592,060	9,950,223
	その他の事 業(リフォーム 事業)	78,102	194,469	272,571	204,193	68,378	29.9	20,460	203,959
	計	9,004,581	14,197,254	23,201,836	8,444,172	14,757,663	17.7	2,612,520	10,154,183
(参考) 前期 (平成18年 12月期)	木造注文住 宅建築事業	9,951,776	14,159,127	24,110,904	15,184,425	8,926,479	9.9	881,815	15,148,402
	その他の事 業(リフォーム 事業)	84,300	341,004	425,305	347,202	78,102	26.5	20,693	330,140
	計	10,036,077	14,500,132	24,536,209	15,531,628	9,004,581	10.0	902,509	15,478,542

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 3. その他の事業はリフォーム事業の実績を記入しております。
 4. 期末繰越工事高の施工高は、支出金により手持工事高の施工高を推定したものであります。
 5. 期中施工高は(期中完成工事高+期末繰越施工高-前期末繰越施工高)に一致いたします。
 6. 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。

② 販売実績

当四半期及び前期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

期 別	事業の種類別セグメントの名称	棟数(棟)	販売高(千円)
当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	木造注文住宅建築事業	389	8,239,979
	その他の事業	—	331,341
	合計	389	8,571,320
(参考) 前期 (平成18年12月期)	木造注文住宅建築事業	693	15,184,425
	その他の事業	—	539,408
	合計	693	15,723,833

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 3. 主な相手先別の販売実績については、当該販売実績の総販売実績に対する割合が100分の10以上の販売先は該当ありません。
 4. 前年同四半期の数値につきましては、当四半期より開示を行っておりますので、記載を行っておりません。